

2成分形弱溶剤系錆止め兼用シリコン樹脂塗料

DIA

ダイヤ
ナチュラルシリコンSG

ダイヤナチュラルシリコンSGは
防錆機能を付与した金属面塗り替え用塗料です。
軽度な発錆であればケレン後の錆止めプライマーの工程を省略できます。

防錆性

省工程

■包装単位

ダイヤナチュラルシリコンSG・・・16kg(A液:14kg/B液:2kg)セット

ダイヤシンナーN・・・・・・・・・・16^{リットル}缶

■施工・保管上の注意点

【塗装面の調整(新設)】

①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レタンス等を完全に除去して下さい。

②雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。

【塗装面の調整(新設・改修共通)】

①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。

【塗装面の調整(改修)】

①各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行なって下さい。
②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
③ジョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
④既存塗膜の種類によりリフティング(シワ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

【材料の保管・管理】

①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

③下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。
ダイヤナチュラルシリコンSG、ダイヤシンナーN

【施工】

①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を遅けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。

③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ります。
④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。

⑦施工にあたっては、同一方法で、入り眼、出眼等見切りの良いところまで仕上げてください。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
⑨本施工に入る前に試験塗りをを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。

⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に塗色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
⑪常に結露が発生する地域・時期での施工は遅けて下さい。
⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。

⑭塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
⑮フッ素や無機系などの難接着塗料が塗られている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
⑯可使時間及び塗膜間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
⑱濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。

⑲下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
⑳シーラーと塗料を混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
㉑上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
㉒ダイヤナチュラルシリコンSGは2液タイプですので、小分けする場合は割合割合を厳守し、十分混合して下さい。又、混合したものは可使時間の内に使い切ってください。

【安全衛生上の注意】

①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
②取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
③子供の手の届かない所に保管して下さい。
④作業中・作業後は十分換気を行ってください。
⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書をご確認ください。
③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

2成分形弱溶剤系錆止め兼用シリコン樹脂塗料

ダイヤナチュラルシリコンSG

■標準施工工程

工程	材料	調割合	所要量	塗回数	乾燥時間		施工用具
					工程内	工程間	
1	下地調整						
2	上塗材	ダイヤナチュラルシリコンSG A液 14kg B液 2kg ダイヤシンナーN 刷毛・ローラー 0~0.8 $\frac{1}{2}$	0.24~0.28kg/m ² 57~66 m ² /セット	2	3時間以上 7日以内	—	中毛ローラー 刷毛

※1 乾燥時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。

※2 下図の判断基準を参考に適用して下さい。

※3 ダイヤナチュラルシリコンSG調合後の可使用時間は、約6時間(23℃)です。

下図、A-1,A-2のような錆が確認される場合、又は雨掛りのある部位など腐食環境が厳しい場合は、工具を用いた除錆等、十分な下地調整の上、ダイヤハイエポプライマー、ダイヤヒスイエポサビ #100、ダイヤヒスイエポサビ #200A のいずれかによる下塗りを行って下さい。



A-1



A-2

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(24.1月現在) 23.1.100 SJ

シーカ・ジャパン株式会社

東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F TEL. 03-6434-7291

BUILDING TRUST

